

市民講座「養」

既成概念を揺さぶる創造力
「問題」が問題でなくなる地平

山内 泰

はじめに：自己紹介

山内 泰（やまうち ゆたか） 1977年山口県生まれ 博士（芸術工学）

やっていること

- ・従来のやりかたでは対応が難しい課題を、社会モデルの考え方で捉えなおし、社会の規範やしぐみを変えることを目指す共創プロジェクトの企画・実践
- ・普段出会わない人たちのつながりが生まれる対話やアート場の場づくり

所属や資格など

- ・ドネルモ(代表理事)：対話を通したまちづくり：高齢者、外国人、障害者、若者
- ・株式会社ふくしごと(取締役)：「働くことに障害がある人」のしごとづくり
- ・ポニポニ:大牟田未来共創センター(理事)：人が中心の地域経営の実践
- ・東京大学先端科学技術研究センター(主任研究員)：障害者の教育と雇用
- ・CASK(代表理事)：地域の居場所での新しい創造活動の普及

- ・社会的処方
＝「社会とのつながり」が個々が抱える問題を解決する
- ・「社会」と「問題」はどう関わっているのでしょうか？



『つながりで誰もが健康になるまちづくり！』

◆生活環境や家族形態、地域社会の変化で「つながり」が希薄化し、人々が孤立や生きづらさを感じる状況の中で、薬と同じように「社会とのつながり」を処方し、個々が抱える問題を解決する「社会的処方」という概念をまちづくりに取り入れ、社会との『つながりで誰もが健康になるまちづくり』を目指しています。

◆「社会的処方の要はリンクワーカー」と言われています。リンクワーカーは、人の幸せのために、人や地域・社会資源、多様な住民主体の活動やコミュニティへのつながりをつくる人です。

◆養父市では、市民のみなさんがリンクワーカーとしての役割を担っていただけるようなまちづくりを推進していきます。



「みんなでリンクワーカーになろう！」
地域で暮らすひとりひとりが、「自分もこのまちのためにできることないかな」と動きだせることが大切です。
ひとりひとりの活動が誰かの『お薬』になります。

☆養父市のいいところを探しましょう！
☆わがまちの課題を探しましょう！
☆わがまちの面白い人・面白い活動を集めましょう！促しましょう！
☆人と人がつながる、人と地域がつながる取り組みをしていきましょう！

- はじめに
- 社会モデル
 - ・ 問題は社会（環境）にある
 - ・ マジョリティに最適化された規範とその抑圧
- 社会モデル的なアプローチ
 - ・ 社会規範やしくみを揺さぶるアプローチ
 - ・ 文化芸術（アート）
 - ・ 「問題」が問題でなくなる地平

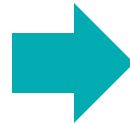
（障害の）社会モデル

- ・ 「障害」を作り出しているのは社会（環境）とする考え方
- ・ 障害者権利条約において採用された国際基準

障害の個人モデル（医学モデル）



障害や不利益・困難の原因は目が見えない、足が動かせないなどの個人の心身機能が原因であるという考え方。
階段を登れないのは立って歩くことができないから、車いすを利用しているからで、その障害を解消するためには、立って歩けるようになるためのリハビリなどによる個人の努力や訓練、医療・福祉の領域の問題と捉えます。



障害の社会モデル



障害や不利益・困難の原因は障害のない人を前提に作られた社会の作りや仕組みに原因があるという考え方。
社会や組織の仕組み、文化や慣習などの「社会的障壁」が障害者など少数派（マイノリティ）の存在を考慮せず、多数派（マジョリティ）の都合で作られているためにマイノリティが不利益を被っている、というマジョリティとマイノリティの間の不均衡が障害を生み出していると考え、社会が障害を作り出しているからそれを解消するのは社会の責務と捉えます。

公益財団法人ケアフィット共育機構HPより

※「社会モデル」は、2006年（平成18年）に国際連合で採択された「障害者権利条約」において考え方が示されており、2011年（平成23年）に改正された「障害者基本法」においても、この考え方が採用されているなど、「障がい」の概念は「医学モデル」から「社会モデル」へと変化しています。

- ・ 社会モデルは、障害者のみならず、普遍的なもの
- ・ 社会モデルのポイントは次の2点にある

①問題を「その人のせい＝自己責任」にしない

→「その人だけが変わればいい」と考えない。

「社会・環境」が生み出していると考ええる。

②社会（環境）を作っているのは「わたし（たち）」

→社会・環境は勝手に成り立っていない。

「わたし（たち）」が社会・環境を作っている。

社会・環境に関わることで、変えることもできる。

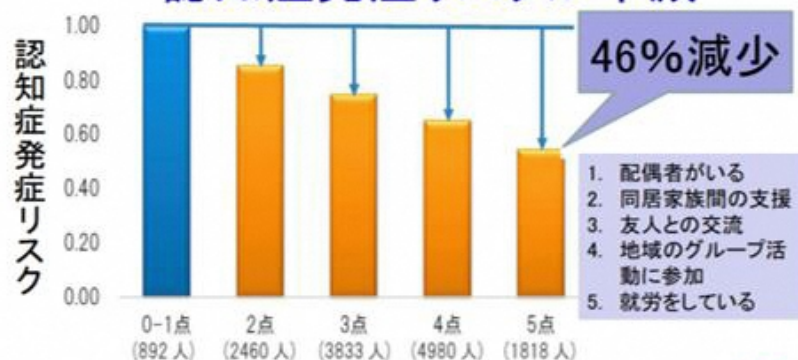
社会モデル：問題は社会（環境）にある

- ・社会疫学の調査では、諸問題の要因は環境にもあることが統計学的に明らかになっている。



13984名を9.4年追跡

社会との多様なつながりがある人は
認知症発症リスクが半減

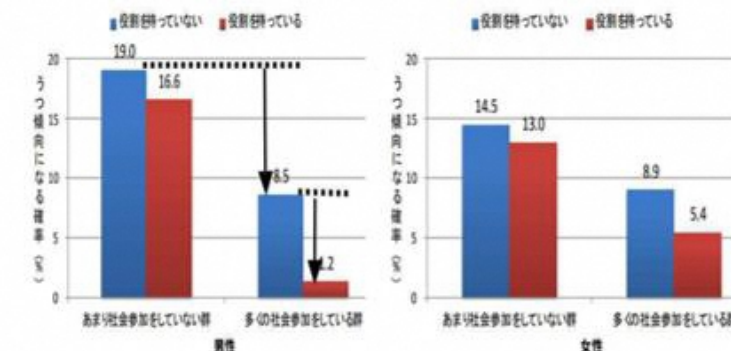


社会とのつながりの数



役割を担って社会参加している男性で
うつ発症のリスクは7分の1

AGES 2003年調査時点でうつ傾向が無く、2006調査にも回答した65歳以上の2728人



趣味、スポーツ、町内会、ボランティア、老人クラブ、業界、宗教、政治のグループへの参加を
たずね、主成分分析で社会参加得点を算出

Takagi, D., Kondo, K., & Kawachi, I. (2013). BMC Public Health, 13: 701. doi: 10.1186/1471-2458-13-701.

※参考資料

「介護・医療保険データの活用による地域づくり～人生100年時代のデータヘルスの推進～」

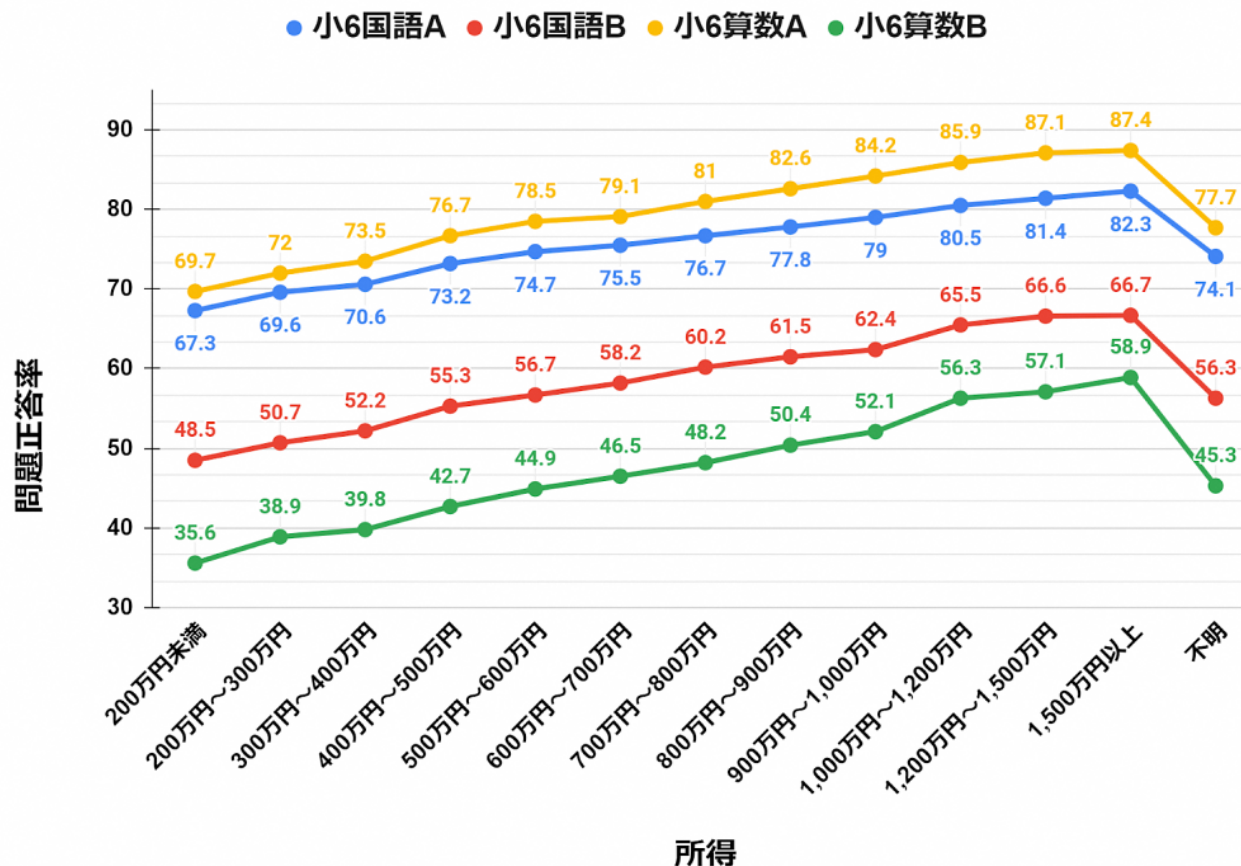
千葉大学予防医学センター 国立長寿医療研究センター

日本老年学的評価研究 一般社団法人JAGES機構 近藤克則氏による資料から(2018)

社会モデル：問題は社会（環境）にある

・所得格差は、教育格差と関連性がある

所得と問題正答率



お茶の水女子大学「保護者に対する調査の結果と学力等との関係
の専門的な分析に関する調査研究」（2013年）

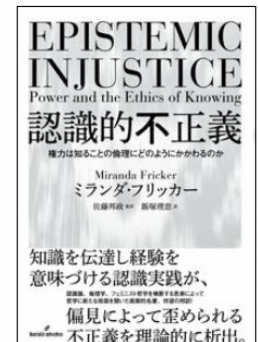
・「がんばったら報われる」と信じられる環境の有無

あなたたちはがんばれば報われる、と思ってここまで来たはずです。ですが、冒頭で不正入試に触れたとおり、がんばってもそれが公正に報われない社会があなたたちを待っています。そして**がんばったら報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと**忘れないようにしてください。あなたたちが今日「**がんばったら報われる**」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背を押し、手を持ってひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからこそです。世の中には、がんばっても報われないひと、がんばろうにもがんばれないひと、がんばりすぎて心と体をこわしたひと...たちがいます。**がんばる前から、「しょせんおまえなんか」「どうせわたしなんて」とがんばる意欲をくじかれるひとたちもいます。**

あなたたちの**がんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。**恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを貶めるためではなく、そういうひとびとを助けるために使ってください。そして**強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きてください。**女性学を生んだのはフェミニズムという女性運動ですが、フェミニズムはけっして女も男のようにふるまいたいとか、弱者が強者になりたいという思想ではありません。**フェミニズムは弱者が弱者のままで尊重されることを求める思想**です。

- ・社会モデルは、設備や制度、経済状況といったハードに関する話にとどまらず、ソフトにも及ぶ。
- ・私たちの社会規範（普通）を巡るイメージや考え方もまた、マジョリティ（多数派）に都合のよいものになっている。
- ・このことは、「認識的不正義」として問題提起されている。

対象物や人物、出来事や行為、状況などを表す概念やフレーズといった解釈資源を発明したり、それを用いた証言を通じて異なる人々が互いの経験や知識を伝達したりする営み（広義の研究）から一部の人々が排除される不正義



- ・ ジェンダーとは

= 「社会によって作り上げられた『男性像』『女性像』」

「社会的性別」(ジェンダー)の視点

「社会的性別」(ジェンダー)とは

生物学的性別(セックス)に対して、社会によって作り上げられた「男性像」・「女性像」のような男女の別を示す概念であり、それ自体に良い悪いの価値を含むものではない。

「社会的性別」(ジェンダー)の視点とは

性差別、性別による固定的役割分担、偏見等が社会的に作られたものであることを意識していこうとする視点。

社会モデル：マジョリティに最適化された規範とその抑圧

- ・ジェンダーギャップ指数：日本118位/146か国（2025）
- ・経済や政治を巡る制度やイメージが、男性中心に形成

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2025年

- ・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされている。
- ・日本は148か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。

■ アイスランド(0.926)
1位/148か国

■ 日本(0.666)
118位/148か国

● 平均(0.688)

政治参画(0.085)

- ・国会議員の男女比
- ・閣僚の男女比
- ・最近50年における
行政府の長の在任年数の男女比

経済参画(0.613)

- ・労働参加率の男女比
- ・同一労働における賃金の男女格差
- ・推定勤労所得の男女比
- ・管理的職業従事者の男女比
- ・専門・技術者の男女比

教育(0.994)

- ・識字率の男女比
- ・初等教育就学率の男女比
- ・中等教育就学率の男女比
- ・高等教育就学率の男女比

健康(0.973)

- ・出生性比
- ・健康寿命の男女比

順位	国名	値
1	アイスランド	0.926
2	フィンランド	0.879
3	ノルウェー	0.863
4	英国	0.838
5	ニュージーランド	0.827
9	ドイツ	0.803
32	カナダ	0.767
35	フランス	0.765
42	米国	0.756
85	イタリア	0.704
101	韓国	0.687
103	中国	0.686
116	セネガル	0.670
117	アンゴラ	0.668
118	日本	0.666
119	ブータン	0.663
120	ブルキナファソ	0.659

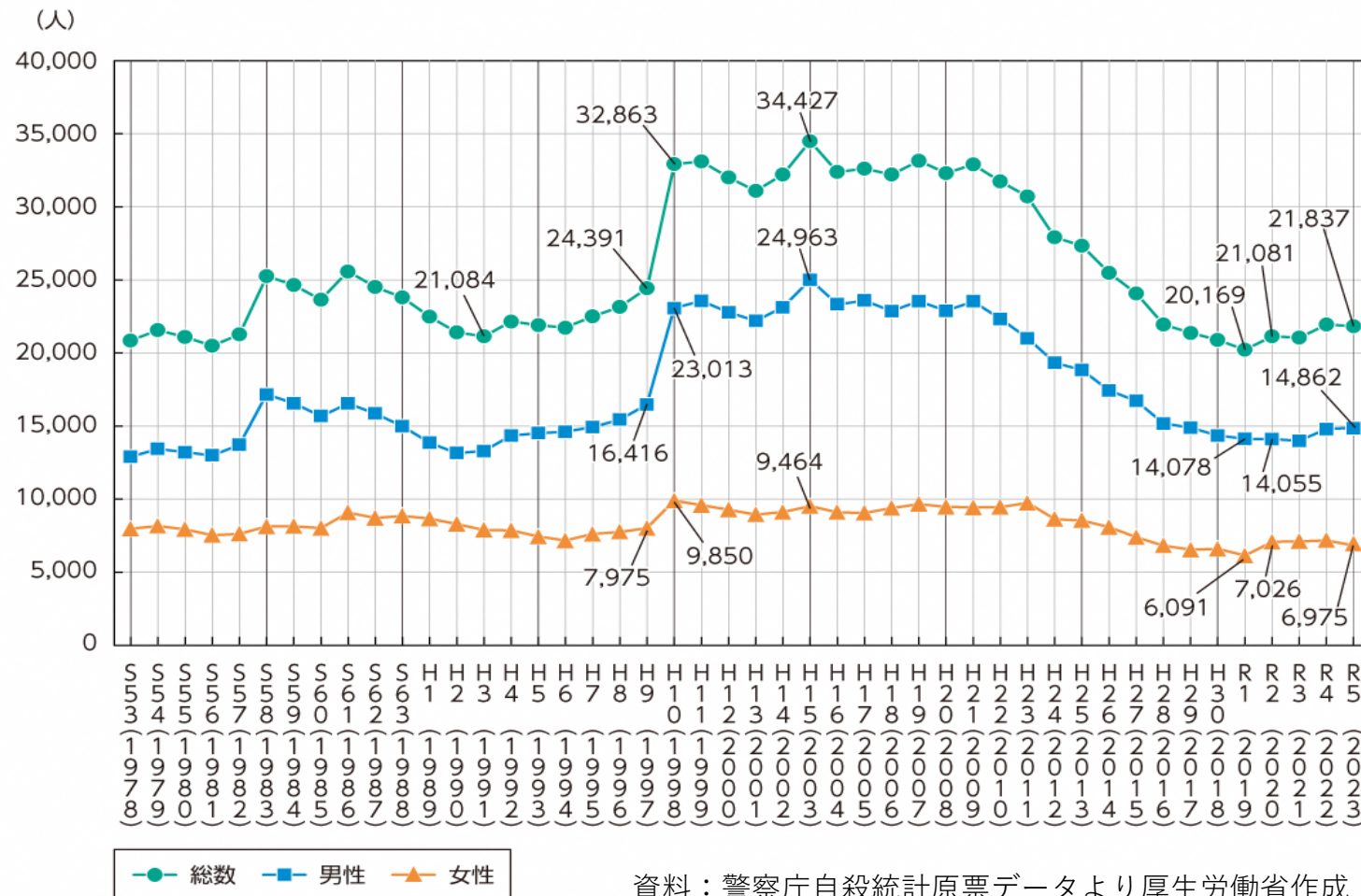
- (備考) 1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2025)」より作成
2. 日本の数値がカウントされていない項目はイタリックで記載
3. 分野別の順位: 経済(112位)、教育(66位)、健康(50位)、政治(125位)

内閣府 男女共同参画局

https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html

社会モデル：マジョリティに最適化された規範とその抑圧

・ジェンダーギャップは、自殺率の男女格差にも顕著



・生き心地の良さ：社会的な規範への距離感があること



日本一自殺率が低い町：海部町

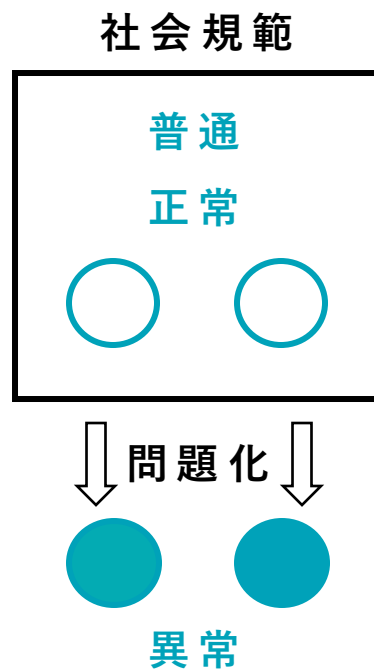
- ・ いろんな人がいてもよい、
いろんな人がいたほうがよいという価値観
- ・ 人物本位主義をつらぬく
- ・ どうせ自分なんて、と考えない
- ・ 「病」は市に出せ
- ・ ゆるやかにつながる

-
- ・ 保守的なジェンダー観が子どもに与える影響

・ 社会モデル

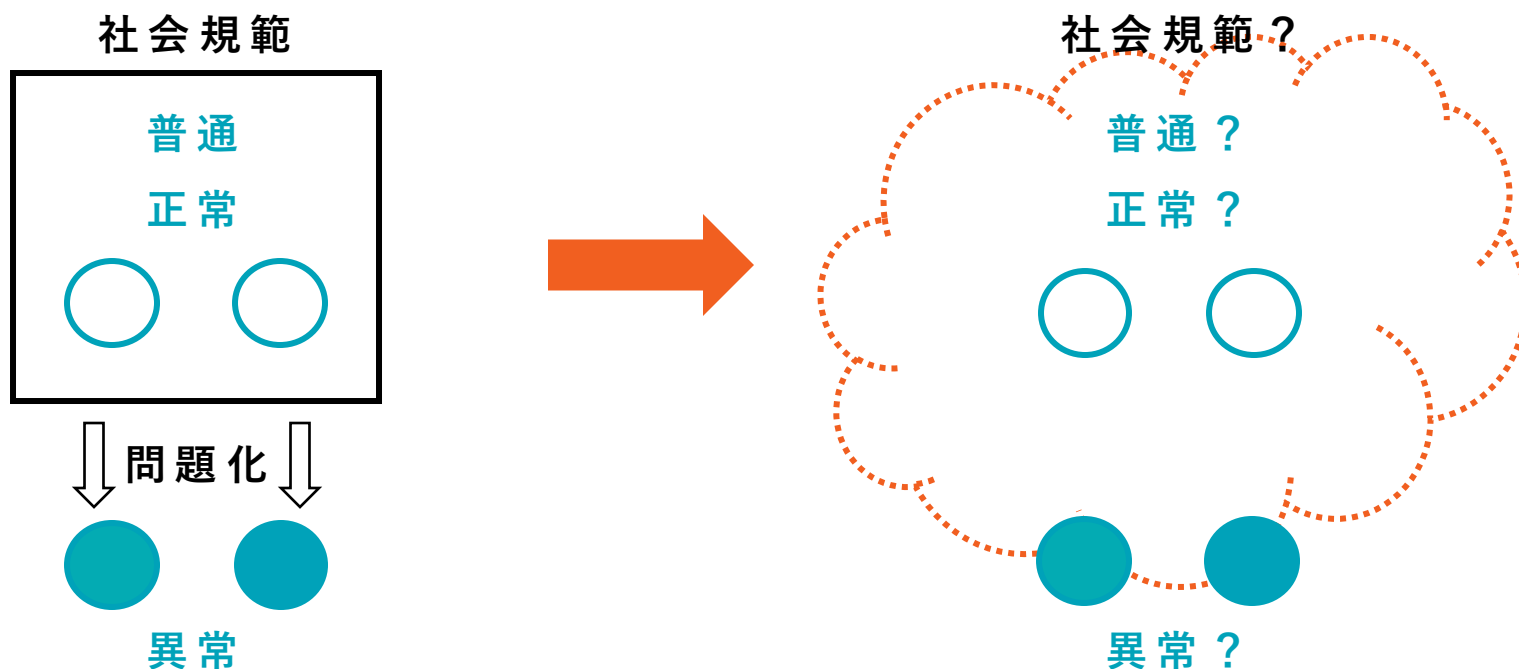
⇒ 「障害」を作り出しているのは社会（環境）

⇒ 既存の社会の規範やしきみが、問題を生み出している。



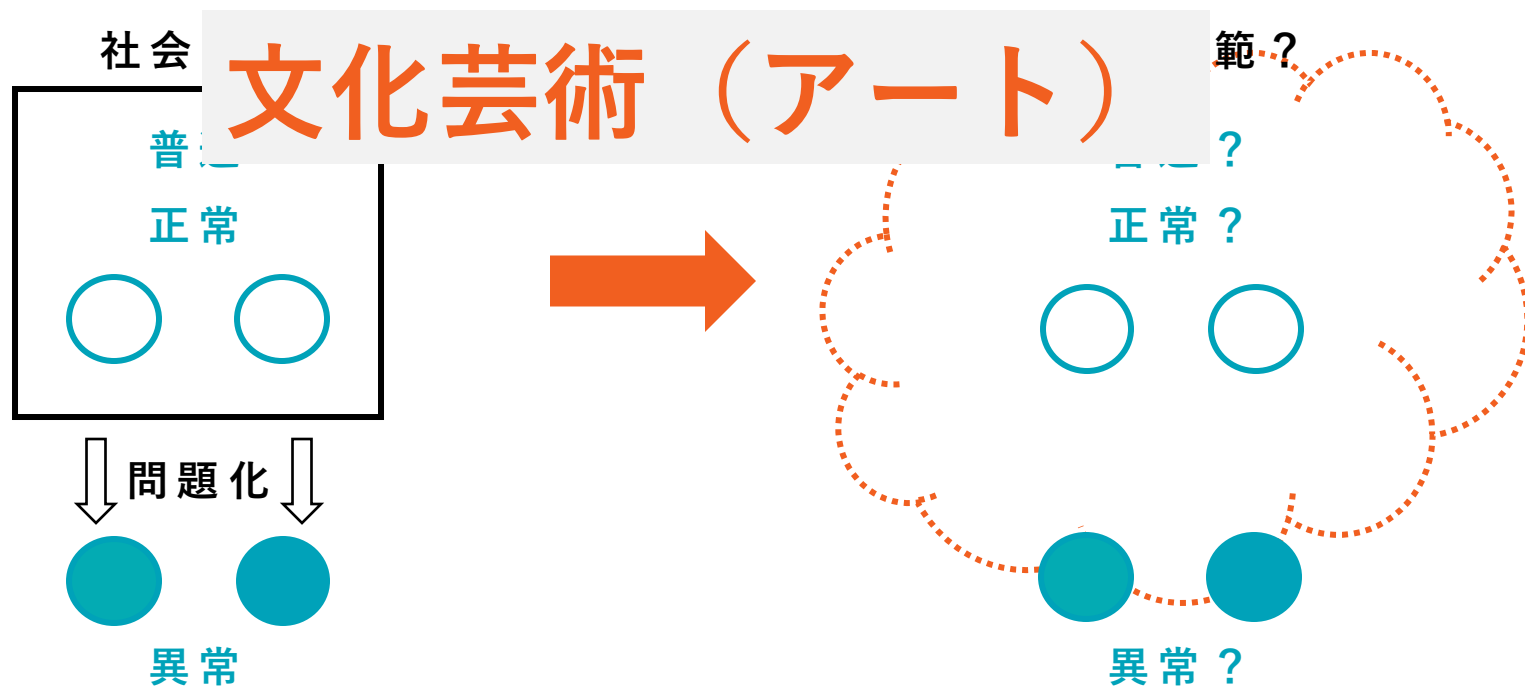
社会モデル的なアプローチ

- ・ 既存の社会の規範やしぐみが、問題を生み出している。
- ・ 社会規範やしぐみを支える考え方を揺さぶることで、「問題」が問題でなくなる地平が見えてくる。



社会モデル的なアプローチ

- ・ 既存の社会の規範やしきみが、問題を生み出している。
- ・ 社会規範やしきみを支える考え方を揺さぶることで、「問題」が問題でなくなる地平が見えてくる。



- ・ 印象派のモネの絵画創作
- ・ 「印象派」は、当時の芸術絵画の域に達していないことを揶揄する蔑称。
- ・ 晩年のモネは、白内障を患った視覚に基づく絵画も、自分の「作品」として位置づけている。



モネ「睡蓮の池」1900年、油彩、シカゴ美術館蔵



モネ「ジヴェルニーの日本風の橋」1922年、油彩、ニューヨーク近代美術館(MoMA)蔵

- ・ **ベートーヴェンの晩年の作品（弦楽四重奏曲）**
- ・ **現代では、高く評価されている。**

音楽であって、音楽を超えているものを含んでいて、しかも、『マタイ受難曲』みたいに直接宗教的でないもの。そう、それは**ベートーヴェンの後期の弦楽四重奏曲**だ。作品127以降の5曲の四重奏曲。あるいは作品133の『大フーガ』を独立した1曲に数えるとすれば、6曲の四重奏曲。これが、かつて、私には、「**窮極の音楽**」であった。これをきくたびに、私は、**音楽には、これ以上はないと信じさせられた**のだった。

（吉田秀和『私の好きな曲』より）

- ・ ベートーヴェンの晩年の作品（弦楽四重奏曲）
- ・ だが当時は、ベートーヴェンのファンですら困惑（芸術音楽の「普通」が揺さぶられていた）。

一八二七年春、ウィーンの街外れのとある家で、何人かの音楽愛好家が出版されたばかりのベートーヴェンの新しい四重奏曲を演奏していた。彼らは驚き失望しながら、**衰えてしまった天才のぶざまな発作の数々**を追いかけていた。

～中略～

詩的な構想に満ちた独創的な旋律の魅力は消えていた。芸術家らしい仕上げは、**才能に欠ける対位法名人の丹念な形式主義**に変わっていた。以前は彼の素早いアレグロの中で燃え、次第に強まりながら沸き立つ溶岩となって十全で巨大な和音の中に漲っていた炎は、**不可解な不協和音**の中で消えてしまった。そして独創的で茶目っ気のある愉快的メヌエットの主題は、**どんな楽器でも演奏できない飛躍とトリル**に変わっていた。

ウラジーミル・オドエフスキー『ベートーヴェンの最後の四重奏曲』（1831）より

- ・ ベートーヴェンの晩年の作品（弦楽四重奏曲）
- ・ 大フーガより



老人性アメイジング とベートーヴェン

[トーク&小囃&演奏]

講師

村瀬孝生 「宅老所よりあい」ほか統括所長

演奏

カルテット・エクセルシオ

進行

山内泰 (一社)大牟田未来共創センター理事

- ・ 障害者の視点と芸術家（アーティスト）の視点
- ・ 「健常者像」に自分を適応させるのではなく、揺さぶる。

小説家にしろ彫刻家あるいは絵かきにしろそれぞれの分野で自分の世界をつくっております。それは理解して貰うというよりもその作品をもって己を世に問う、あるいは**強烈な自己主張**をたたきつけるということではないでしょうか。～中略～

駅の階段やいろいろの建築物など**町そのものが私たちの存在を無視し、そこで私たちが生きていくことを拒否**しているのです。そこで私達の運動は街に出ることから始めなければならないと考えたのです。……**私達脳性マヒ者には、他の人になんか独特のものがあることに気づかなければなりません。**そして、その**独特な考え方なり物の見方なりを集積してそこに私達の世界をつくり世に問うことができたならば、これこそ本当の自己主張ではないでしょうか。** 横塚晃一著『母よ！殺すな』より

認知症の「徘徊」：どうする？

＼ 大丈夫かしら.. /



＼ ウロウロして
危ないなあ.. /



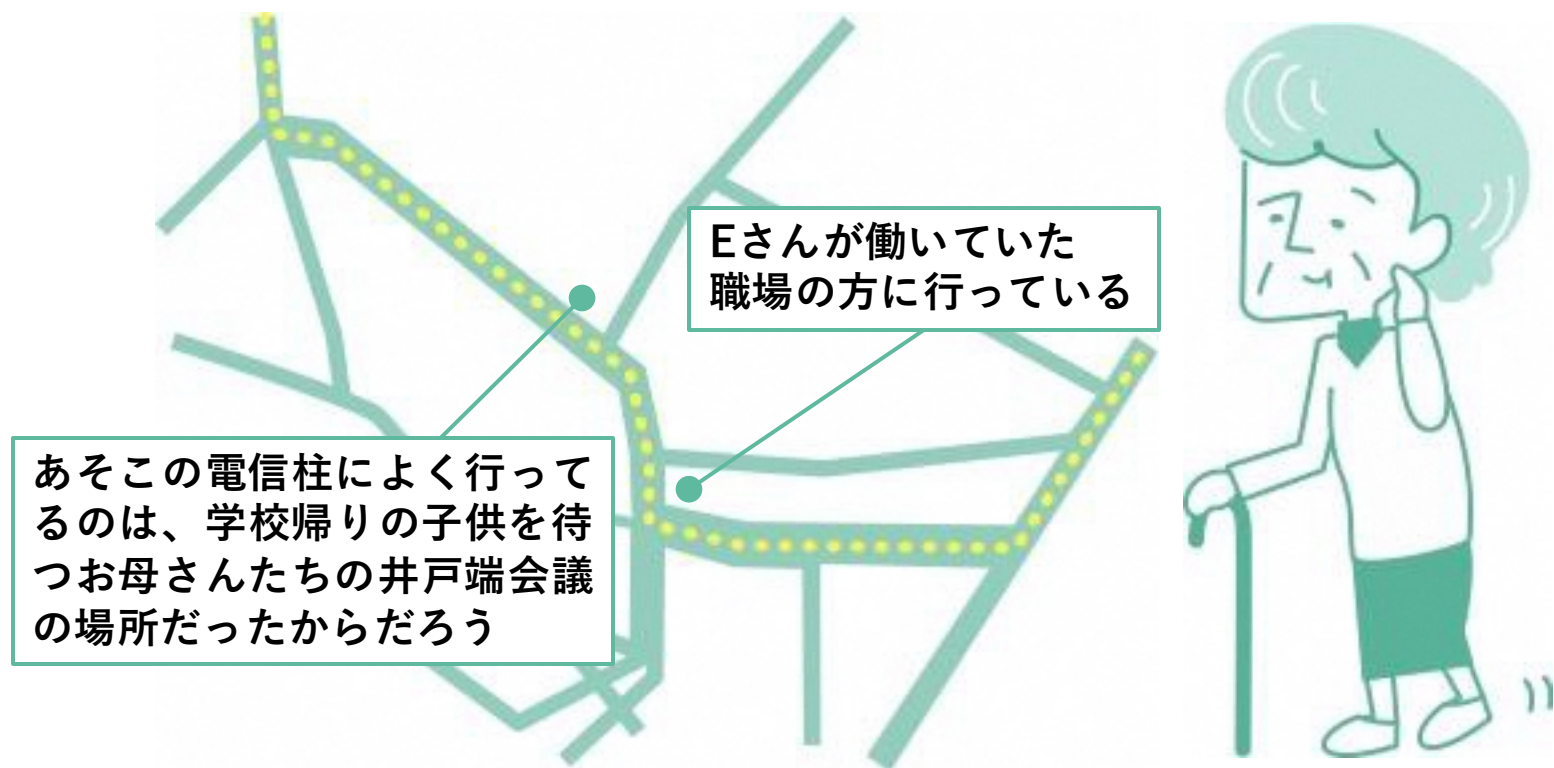
Eさんが「徘徊」している

地域に暮らす人たちで話し合いを行った



介護事業所で本人を支えるためのカンファレンス
住民・専門職 合わせて50名弱が参加

Eさんの「徘徊」ルートを地域の人と検討すると..



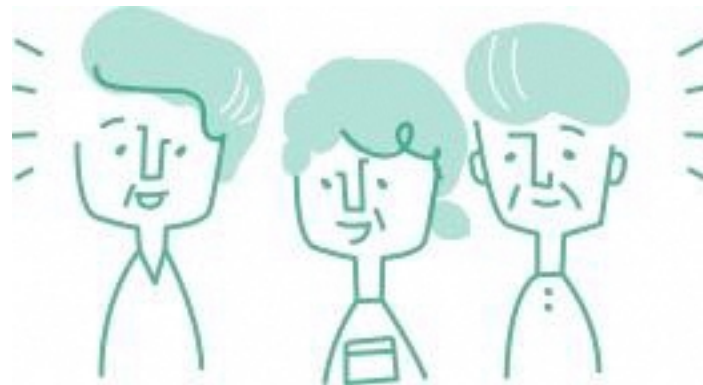
徘徊の行動については「こっちに行くのは、以前働いてた商店街があるから」「こっちは毎日1人息子を迎えに行っていたからだろう。」など、専門職や支援機関では知りえなかった話が聞こえてきた

⇒ 「異常な行動（徘徊）」では全くない。

「徘徊」ではなく
「馴染みの道を散歩しているんだろう」



地域の物語に戻る



その町とともに暮らすEさんに戻ってゆく
（「問題」が問題ではなくなる地平）

社会モデル的なアプローチ：「問題」が問題でなくなる地平

- ・ 社会規範やイメージを捉え返すアートの発想で、環境（マジョリティ）側に働きかけ、「問題」が問題ではなくなる地平を目指す取り組み

- 村瀬孝生（宅老所よりあい）の実践

→ 「お年寄とスタッフ」に権限を委譲し、「お年寄りの邪魔をしない」「お年寄りの実感に寄り添う」ことで、「老い」を問題化せず、老いと共に生きることを目指すアプローチ

- 超短時間雇用モデル（IDEAモデル）：東大先端研近藤研

- 福岡モデルにおける雇用支援事業：ふくしごと（福岡労働局）

→ 企業の職場環境が変わることで
障害者の（週20時間未満の）就労を実現するアプローチ

- 認知症の方と介護者の方が共に創るアートワークショップ：ドネルモ

→ 介護者が変わること、認知症当事者を問題化しないアプローチ

- とある福岡市の保育園

→ 園の保育方針を変更することで、「問題児」が生まれなくなるアプローチ

社会モデル的なアプローチ：「問題」が問題でなくなる地平

○ 村瀬孝生（宅老所よりあい）の実践



社会モデル的なアプローチ：「問題」が問題でなくなる地平

○ 超短時間雇用モデル（IDEAモデル）：東大先端研近藤研

超短時間雇用モデルと 地域でのインクルーシブな働き方

近藤武夫
東京大学先端科学技術研究センター



超短時間雇用で働く 人の事例

- これまで企業に雇用された経験がなかった精神障害のあるAさんは、週に数時間だけ、他の社員と同じ部署の同僚として、技術文書の翻訳にあたっています。
- 翻訳に従事してくれるAさんのおかげで、その部署の課長Bさんは、毎週行わなければならない短時間の翻訳業務を担当してくれる人を探さなくても助かっています。

超短時間雇用で働く 人の事例

- 難病により重度の肢体不自由があるCさんは、あるコンテンツ制作部署の制作業務の進捗管理と上長への報告業務を、週に数時間、担当しています。
- 次々にやってくる急ぎの制作業務への対応に追われているスタッフDさんは、毎週行わなければならない仕事をCさんが担ってくれるので、臨機応変な対応に割くことができる時間が増えています。

超短時間雇用で働く 人の事例

- 知的障害のあるGさんは、商店街のパン屋さんと、デニッシュパンの整形業務を週1時間、担っています。
- これまでパン製造にすべての時間が取られ、店舗での接客に立ってお客さんと交流できないことを残念に思っていた店主のHさんは、短時間でも接客に立てようになり、お客さんと交流したいという希望が叶っています。

その他の事例

山本さん（仮名）の事例

- 解離性障害のため10年前から離転職を繰り返す
- 川崎市内の書店での図書整備の仕事
- 調子の悪い時には週1回、良い時には5回、一日3～5時間程度勤務

SOURCE: 近藤研（2014）「やさしい雇用へのアプローチ」16ページより引用
http://www.city.akasaka.jp/250/page/0000093182.html

障害者の一般企業での雇用

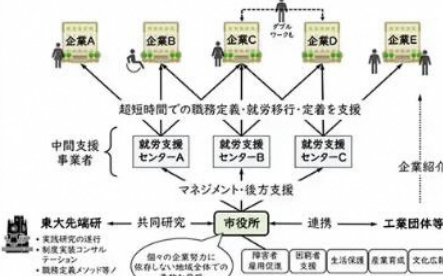


18～64歳の労働者人口** (約7,130万人)

一般企業で働く障害者の数は限られている

**労働政策研究・研修機構（2014）「労働力調査」16ページより引用
**「国勢調査」平成25年（2013）1月1日現在人口調査

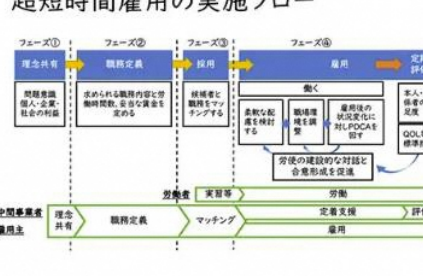
⑤ 超短時間雇用を創出する地域システムがある



東大先端研 ← 共同研究 → 市役所 → 連携 → 工業団体等

※上記は川崎市や神戸市での例

超短時間雇用の実施フロー



労働からの排除は「地域課題」を生む

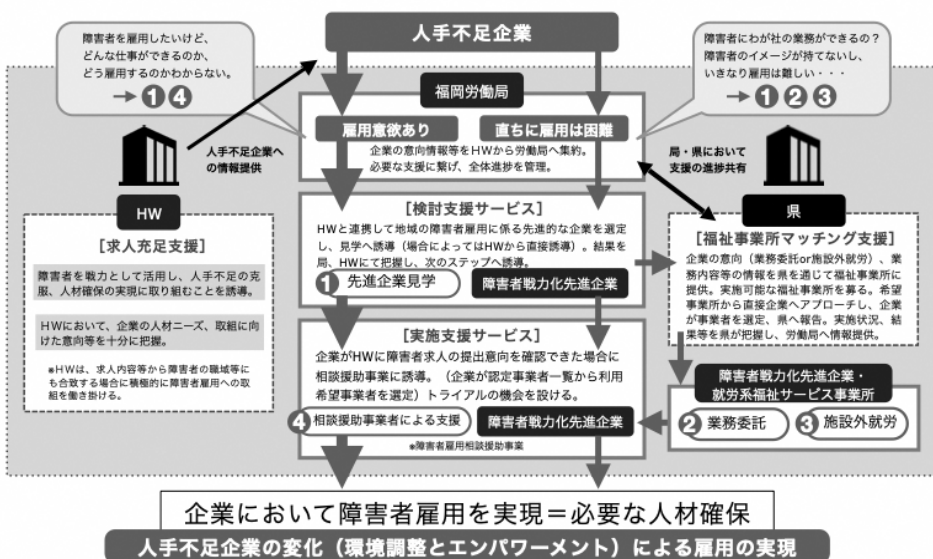


労働社会 → 地域 Community

社会モデル的なアプローチ：「問題」が問題でなくなる地平

○ 福岡モデルにおける雇用支援事業：ふくしごと（福岡労働局）

支援のフローチャート



参画企業※一部事例として抜粋



オフィスワーク就労専門現場
特例子会社による雇用モデル
福祉と企業の環境調整
複数の雇用形態



IT就労専門現場
福祉事業所から企業へ送り出すモデル
福祉の環境調整（雇用支援・ステップ作り）

ASKUL Logist

ロジスティック就労専門現場
障害者雇用のモデル企業の環境調整
（業務分解・受入れ作り）

ふくしごと

コンピテンシーマネジメント
企業の業務の見える化・細分化
福祉事業所の受注体制構築の支援

社会モデル的なアプローチ：「問題」が問題でなくなる地平

○ 認知症の方と介護者の方が共に創るアートワークショップ：ドネルモ



社会モデル的なアプローチ：「問題」が問題でなくなる地平

○（こども食堂等）地域の居場所でのアートワークショップ：CASK

ご近所アート
やってみる？

いつもは話さない子と、はじめて喋ったよ！

いつもより楽しい！また来たいな



社会モデル的なアプローチ

- ・ 既存の社会の規範やしきみが、問題を生み出している。
- ・ 社会規範やしきみを支える考え方を揺さぶることで、「問題」が問題ではなくなる地平が見えてくる。

